



施政方針演説をする前田市長

## 令和4年度

# 枕崎市 施政方針

令和4年度枕崎市議会第2回定例会が2月25日招集され、前田祝成市長が令和4年度の市政運営についての施政方針演説を行いました。その一部を抜粋して紹介します。

本年1月16日告示の枕崎市長選挙において市民の皆さまのご信任をいただき、市長として2期目の市政運営に当たることとなりました。市民の皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。約28年ぶりの無投票当選ということで有権者の皆さまには民意を示す機会がなかったという事実を真摯に受け止め、1期目以上の重い責任を認識すると同時に、これから4年間、これまでに以上に枕崎市に尽くし、日々精進していく覚悟です。よろしく願っています。

それでは、令和4年3月議会の開会に当たり、市政運営の所信と基本方針についてご

説明し、市議会ならびに市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症はこれまでの2年間で6度の感染拡大局面を経て、現在でも収束を見ていません。初期の感染拡大防止のための市民への啓発に始まり、医療提供体制確保、PCR検査助成事業の実施、希望する方へのワクチン接種など、感染防止対策を行うとともに、雇用の維持、事業の継続を目的として社会経済活動を動かし続ける

施策、併せてアフターコロナを見据えた地域社会づくり、職員の想像力と知恵を総動員して、引き続き取り組みます。

### 地場産業の競争力強化

社会経済活動を動かしていく原動力は、本市の強みである地場産業の競争力強化です。枕崎漁港を中心とする水産業、水産業を基点とする水産加工業、茶、花き、果樹、甘しょ、畜産などの農業、芋焼酎などは、現在我が国の経済課題であるモノの価格低迷、デフレを解決できる高いポテンシャルを持つていま



▲特産品PR動画「枕 (MAKURA) JAZZ」

す。昨年制作した本市のPR動画は、「丁寧・本物」という本市で産み出される製品の品質を表現したものです。それらの品質が正しく評価され、産業の付加価値を高める努力をさらに強く進めていくこと

は本市の重要な課題です。その本市の特産品のブランド価値を高め、その存在を広く日本中に知らしめる手段の一つでもあるのがふるさと納税です。ふるさと応援寄附については、おかげさまで1月末現在で32億円を超える寄附が寄せられております。この4年間で合計しますと100億円を超える多くの額の寄附をお寄せいただいていることとなります。お寄せいただいたご厚意については、本市の活性化につながるまちづくりの財源として、地域振興策に有効に活用させていただきます。また、返礼事業を通じてさらなる本市特産品の魅力の

発信等を行い、産業競争力の向上、地場産業の振興につなげていきます。

### 自治体新電力会社の設立

国の掲げる2050年ゼロカーボン社会の実現に向けて、本市では新たなチャレンジを進めています。現在策定中である本市の総合的なエネルギー政策に関するマスタープランにおいては、再生可能エネルギーへの転換による脱炭素への貢献を果たしつつ、地場産業の持続可能性の確保を図り、これまで外部に流出していたエネルギーコストを域内にとどめることで経済の地域内循環を創出するほか、公共施設などにおける分散型電源の整備による防災力の強化を図るなど、脱炭素・経済・防災などの地域課題の解決を本市エネルギー政策の基本方針に掲げており、新年度はその中核的な役割を担う自治体新電力会社の設立に取り組みます。今後、地元事業者や住民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、マスタープランで検討した事業計画を基に、事業体の設立を着



▲枕崎市地域エネルギー社会活性化協議会

実に進めます。

### 関係人口の創出

一昨年から取り組んでいる市営野球場改修、南浜館改修が本年度中に終了します。昨年は、市営野球場で地元高校生同士の交流戦やボーイズリーグによる硬式野球の公式戦開催、そして南浜館では1万5000人の集客があった「動くゴッホ展」など、関係人口増加につながる取り組みを行いました。改修が終了した両施設を中心に、スポーツ・文化による関係人口増加の取り組みをさらに加速させていきます。

### 火之神地区の土地取得

火之神地区の養豚場跡地の

土地購入について申し上げます。当該土地に残る老朽化した建物の現況や、本市の一大景勝地である火之神公園へのアクセス道路に面しているという立地を鑑み、まずはこの地域の環境・景観の保全に市として取り組むこととします。その取得に向けた交渉は既に開始していますが、新年度はこの交渉を着実に進めていきます。また、当該土地の有効な活用は、地域の活性化や関係人口の創出・拡大など、大きな可能性を秘めているものと考えられるため、土地購入事務と並行しながら、今後はその利活用方法について本格的な検討を進めます。少子高齢化・産業振興・脱炭素の推進など本市の地域課題を踏まえ、それらの解決とともに、本市のさらなる魅力発信にもつながる当該土地利活用の基本構想について検討することとしています。

### 友好都市盟約10周年記念事業

本年4月に10周年を迎える稚内市との友好都市盟約について、両市市民が互いに訪問し合う市民訪問団事業や、枕



▲友好都市締結調印式の様子

崎駅と稚内駅を利用した方に対する両市訪問記念事業のほか、フォトコンテストなどのイベントなどを実施します。また、両市の青少年交流を深めるため、本市の中学生を稚内に派遣する稚内交流事業を実施します。

### 地域共生社会の実現

新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されたから2年が経過しましたが、「感染症との戦い」を「感染症との共生」へと深化させていく時期にきています。新しい生活様式の中であっても、市民一人一人の暮らしに寄り添い、これまで続けてきた産前産後ケアや病児病後児保育などに新しい施策も加えた切れ

目のない子育て支援、高齢者も障害を持つ人も全ての人が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくための医療、介護、福祉の、さらなる充実を図り、持続可能な地域共生社会実現に向けた政策を加速させていきます。未来を担う子どもたちがすくすくと成長し、ふるさとを大切に育む心、ふるさとに学ぶ心を育む教育を学校、地域、家庭で共に成長させていきましょう。そして、子どもから高齢者まで、全ての人を誰一人取り残さない、枕崎ならではの心の通った地域共生社会の実現に向けて、これからも共に前進していきましょう。

### 施政方針をホームページで公開

施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。

掲載ページ  
【市長の部屋⇒施政方針⇒令和4年度施政方針】



▲施政方針全文